

令和7年12月市議会定例会請願文書表

請 願 番 号	請願第17号
件 名	小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を求める請願の件
請 願 者	八尾市山本町北4丁目2-24 服部 宏 八尾市堤町3丁目51-15 馬場野 成和(外署名895名)
請 願 要 旨	全文(写し)の通り
紹 介 議 員	越智 妙子
付託委員会	文教
受理年月日	令和7年11月11日

請 願 番 号	請願第18号
件 名	子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願の件
請 願 者	八尾市緑ヶ丘5丁目5-16 八尾保育運動連絡会 志村 ちさと(外署名40名)
請 願 要 旨	全文(写し)の通り
紹 介 議 員	越智 妙子
付託委員会	文教
受理年月日	令和7年11月12日

2025年11月11日

八尾市議会 議長 竹田 孝吏様

小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を

請願者 八尾市山本町北4丁目2-24

服部 弦

八尾市堤町3丁目51-15

馬場野成和

文部科学省は、この春、小学校での35人学級を全面的に実施しました。それにもかかわらず八尾市教育委員会の調査(2025年5月1日付)では、国の学級編成基準の「35人学級」を上回り「36人以上」の学級が市内で11小学校13学年で存在しています。これは特別支援学級の児童を通常学級児童数に入れない(ダブルカウントしない)で学級編成をするために起きています。八尾市においては昨年度まで3年間小学校の支援学級の児童を「ダブルカウント」して「国の基準以上の人数の学級」をなくす独自の措置がとられて、子どもたち・保護者はじめ学校関係者・教職員から歓迎されてきました。また、中学校では、文部科学省が2026年度から中学校の「35人学級」を実施する方向を示しています。しかし、八尾市教育委員会の調査(2025年5月1日付)では、市内中学校で国の学級編成基準の「40人学級」を上回り「41人以上」の学級が2中学校3学年で存在します。

八尾市として小学校、中学校において「いきとどいた教育」を保障するために、国の基準を超える小学校での「36人以上の学級」中学校での「41人以上の学級」の解消の措置を人的保障も含めて取ってください。とりわけ中学生は、思春期真っただ中で、心身ともに大きく成長変化し、進路選択にも直面する時期であることを踏まえて対応していただくよう強く求めます。

請願事項

市内公立小・中学校における国の基準以上(小学校36人以上、中学校41人以上)の学級の解消を求めます

紹介議員

越智妙子

2025 年 11 月/2日

八尾市議会議長

議長 竹田孝史 殿

請願者 八尾保育運動連絡会

住所 八尾市緑ヶ丘 5-5-16

名前 志村 ちさと

紹介議員

越 智 妙 子

子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の 施策の抜本的改善を求める請願書

- 1、保育を希望しても入れない児童が今年 250 人以上います。希望する施設にすべての子どもを受け入れてください。
- 2、保育園等で働く職員を確保する為の補助金を増やしてください。
- 3、保育園等の給食費を無償にしてください。
- 4、年度途中の保育サポートの予算を拡充して下さい。
- 5、学童保育のトイレや教室など子どもたちが過ごしやすい環境整備を行なってください。また正規職員の指導員を採用し、引き続き市直営を守ってください。

署名数は

40

筆です